

山下重民 （明治） 雑誌編輯者、隨筆家。安政四年十一月七月江戸生れ、
 昭和十七年七月十八日歿（八五七―一九四二）。幼名金次郎。號警渡邊人。
 漢學を學び、明治二年大政官、十一年大藏省記録司勤務。傍ら漢詩又
 き研鑽、植村蘆洲、のち大沼枕山の師事した。二十一年雜誌『風俗畫
 報』第一號から寄稿、二十七年渡部又太郎（大橋乙羽）の後を承けて
 編輯責任者となる。致仕後は雜誌『江戸文化』、『書畫骨董雜誌』、
 『武藏野』、『掃苔』等、の考證的文章を發表。
 著書『松島大觀』（大正二年九月十九日竹内書房）、『風俗画報・山
 下重民文集』（山下重一編、平成二年十二月十日青雫房）等。

